

三重大学教育学部附属教育実践総合センター規程

(平成 11 年 4 月 1 日制定)

(趣 旨)

第 一 条 この規程は、三重大学教育学部附属教育実践総合センター（以下「センター」という。）の組織及び管理運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第 二 条 センターは、教育実践についての総合的研究を行うとともに、その成果に基づいて教育の発展充実に寄与することを目的とする。

(部 門)

第 三 条 センターに、次の部門を置く。

- 一 教育工学部門
- 二 教育実践研究部門
- 三 教育臨床研究部門

(事 業)

第 四 条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- 一 教育工学及び情報教育に関する研究と指導
- 二 教育実践及び教師教育に関する研究と指導
- 三 教育臨床に関する研究と指導
- 四 プロジェクト研究の推進及び援助
- 五 研究成果の刊行
- 六 研修会及び研究会等の開催
- 七 関連の教育研究情報の収集と公開
- 八 他の教育研究機関との研究協力
- 九 その他センターの目的を達成するために必要な事項

(職 員)

第 五 条 センターに、次の職員を置く。

- 一 センター長
- 二 専任教員
- 三 その他必要な職員

(センター長)

第 六 条 センター長は、センターの管理運営に関する業務を総括する。

2 センター長は、三重大学教育学部（以下「学部」という。）の教授のうちから第十条に定める運営委員会の推薦に基づき、教授会の議を経て学長が選考する。

3 センター長の任期は、二年とし、再任を妨げない。ただし、引続き四年を超えることはできない。

(専任教員)

第 七 条 専任教員は、各部門に所属し、センターの業務に従事する。

(客員教授)

第 八 条 センターに、客員教授を置くことができる。

2 客員教授の選考は、三重大学客員教授及び客員助教授選考規程の定めるところによる。

(兼務教員)

第 九 条 センターの事業に参画し、研究指導に関する業務を兼務する教員（以下「兼務教員」という。）を置くことができる。

2 兼務教員は、学部及び附属学校の専任教員のうちからセンター長の推薦に基づき、教授会の議を経て学部長が任命する。ただし、附属学校教員の場合は当該附属学校長の承認を得るものとする。

3 兼務教員の任期は、二年以内とし、再任を妨げない。

(運営委員会)

第 十 条 センターの管理及び運営に関する重要事項を審議するため、三重大学教育学部附属教育実践総合センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(研究員及び研究協力員)

第十一条 プロジェクト研究やセンターを利用しての研究を推進するために、センターに研究員及び研究協力員を置くことができる。

2 研究員は、学部及び附属学校の専任教員のうちから運営委員会の推薦に基づき、教授会の議を経て学部長が委嘱する。

3 研究協力員は、研究員に協力して研究を行う教育関係者で、運営委員会及び教授会の議を経て学部長が委嘱する。

4 研究員及び研究協力員の任期は、一年とし、再任を妨げない。

(規程の改正)

第十二条 この規程の改正は、教授会の承認を得なければならない。

(雑 則)

第十三条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成十一年四月一日から施行する。

2 三重大学教育学部附属教育実践研究指導センター規程（昭和六十二年五月二十一日制定）は、廃止する。

3 この規程の施行後最初に任命されるセンター長の任期は、第六条第三項の規定にかかわらず、平成十三年三月三十一日までとする。